

地域密着型サービス評価の自己評価グループホームベルジ吉岡たやの家

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>介護保険の基本理念、吉岡たやの家での理念をあげている。 「一日一回は入居者の笑顔を引き出せる対応を行う」事を心掛けている。</p> <p>○</p>	<p>理念はあがっているが職員が理解しているとは限らないと思われ、説明等が必要かと思われる。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念の共有、実践に向けての取り組みはともに十分できていない。 管理者と職員が常に連携をとり、一人一人の業務や対応などについて向上心を持っている。</p> <p>○</p>	<p>理念はあがっているが職員が理解しているとは限らないと思われ、説明等が必要かと思われる。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開き説明や意見交換を行っている。御家族には理解してもらえよう取り組んでいるが、地域の人々については十分取り組めていない。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩時に近所の方々とお話したりお花を頂いたりとの交流があり、施設に話相手に来て下さいとお誘いを積極的に行っている。利用者との外食会で近隣のお店を利用させて頂いている。</p> <p>○</p>	<p>もっと近所の方々との接点を増やしていきたいと思う。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会に参加している。 地元中学生の職場体験の受け入れをしている。 町内での夏祭りの参加や、図書館の利用をしている。</p> <p>○</p>	<p>地域活動への参加などで、交流を増やしていきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	管理者が地域の窓口として対応している。	○	地域の方で、介護技術の相談(入浴や排泄介助等)があれば指導や協力をしていきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	評価報告書を書くユニットに掲示すると共に、申し送り等で情報提供を行い、ユニットで改善するように努めている。		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	会議にて利用者状況などを報告し話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている。		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	管理者は市町村担当者との接点を多く持ち、サービスの向上に取り組んでいる。		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	職場内研修や外部研修にて学んでいる。 利用者の中に権利擁護を活用している人がいる。		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	虐待防止について学ぶ機会を持ち、虐待が見過ごされることがないように注意を払い防止している。	○	今後も徹底していきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、解約時ともに十分な説明を行い、理解納得がはかれるようにしている。</p> <p>入居前には施設見学をして頂き、説明を行っている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>職員が日々の中で、利用者の要望を聞いて管理者に伝えたり、管理者が利用者と話したりしている。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>御家族に随時利用者の生活状況や健康状態について、面会時や電話にて報告を行っている。</p> <p>受診前後の報告や相談など個々に合わせた報告と共に月に1回のおたよりを活用し現在の状況を御家族が確認出来るようにしている。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>施設内に目安箱を設置し御家族の意見を反映させている。</p> <p>また市町村および群馬県国民健康保険団体連合会に苦情受付の窓口を設けている。</p>	<p>○ 面会時に意見を伺う時もあるがもっと家族とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築けるように努めていきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>主任や各ユニットのチーフが職員の意見を聞き管理者へ報告、相談を行っている。</p> <p>朝礼時に意見を出し話し合いをしている。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>研修、受診時等は人員確保のための勤務調整を行っている。</p>	<p>○ 利用者の要望に十分な対応ができるように、職員の人数を確保していきたい。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職は必要最小限にて、代わる場合は利用者への配慮をしている。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場内研修、外部研修などを活用し育成に役立っている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者と交流する機会を持っている。交換研修等で他施設の良い面を取り入れサービスの向上に努めている。	○ 同じグループ内での交流はあまりないので機会があれば交換研修等積極的に参加していきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	新年会や忘年会を実施している。 職場内でユニット異動を行ったり、同グループ内で異動など出来るほか、管理者と気軽に話せる環境づくりがされている。	○ 職員の人数を増やしてほしい。 休憩時に横になれる部屋があれば良いと思う。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の努力や実績を把握し、向上心を持って働けるように努めている。	○ 職員一人一人と面談し、なやみ、心配事などを聞いてもらえる時間をとってほしい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に御本人と面会を行い、御自分で訴えができる方については直接聴き取りを行っている。できない方については御家族から情報を得ている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居申し込みをされる前に施設利用についての説明を十分に行い、御家族が困っていることなどについて聴き取りを行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	対応する職員が事前に御本人、御家族の状況や希望を管理者から聞き、ケアへの対応策を話し合い実施している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学に来て頂き、ホームの雰囲気や他の利用者の様子を見て頂いている。 数日家族と一緒に泊まって頂く等工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で行事や外食会等を通して利用者の昔の体験談から学ばせて頂いたり、支えあう関係を築いている。	○	今後も楽しい企画を立て、利用者の方と楽しい日々を過ごしていきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族と連絡を取り、御本人の要望や家族の思いを聞いて介護にあたっている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時に御家族から今までの生活暦等について詳しく聞き取りを行い、入居後の良い関係が築いていけるように支援している。	○	外食会や室内行事などにできるだけ多くのご家族も参加して頂ければと思っているが、いろいろな事情により難しい為、おたより等を活用し情報を伝えたいと思う。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	時々面会に来て頂いたり、法事や同窓会等の参加もしている。 ご家族の協力を得て、ご自宅へ戻られたり、親族の方と出掛けられたりできる支援を行っている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者の人間関係に配慮して、ホールのテーブルの位置を決めたり、レクリエーションなどで関わり合いがとれるようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス終了後も、相談を受ける体制を取り、ご家族との関係を大切にしている。入院が続き退去になってしまった方に対しても、本人の様子を見に行ったり、洗濯物をお預かりしたり、ご家族に対しては本人の次の契約先を探すなどのアフターケアに努めている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	レクリエーションや団体行動の苦手な方には無理をさせず、本人の希望を伺い職員とご本人で検討している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の経歴等を伺いご本人のサマリーを作成し、今までの生活環境や状態を把握するように努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	記録や観察表にひとりひとりの様子を書き、職員間で共有把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の中でのご本人の希望や意見、又はご家族の希望等を記録に残し介護計画の中に反映させている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化や期間に応じて見直しを行い、入院、退院などで状況が変化した際には新たな計画の作成を行っている。	○	新たな計画作成時、もう少しご家族の意見や希望を聞けるように努めていきたいと思う。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子観察や記録を元に情報共有し、ユニット会議を行いケアプランの見直しをしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族からの要望があった時はスタッフ内で会議を行いその後管理者とも相談しながら出来る限り要望に応える支援を行っている。	○	買い物に出たい時に、施設用の車がなく出かけられない場合が多い。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署の協力による防災訓練や地元中学生の職場体験の受け入れをしている。又、ボランティアの方々の協力により音楽会や踊りなどを披露して頂いている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や必要に応じて訪問マッサージなどを受けられるようにしている。	○	地域の方との交流をもっと深く行って行きたい。ボランティアの方やお話相手など積極的に受け入れたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護を受けている入居者の方がいる。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に希望を伺って納得が得られたかかりつけ医との関係を築き適切な医療が受けられるように支援している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>今後も専門医の診断や治療を受けられるように支援していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>現状の報告・相談をご家族と行っているが、終末期に向けた話し合いや希望を伺っておける様にしたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>サマリーや電話での情報交換は行っているがご本人との面談や話し合いをもう少し増やせればと思われる。(当施設→他施設への場合)</p>



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報を守られるように、またプライドを傷つけないように言葉かけや対応には気をつけている。	○ 利用者が不快に感じるような言葉かけや対応をしないように職員が意識を高める。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人の希望や思いにそった介護ができるように努力している。訴えや希望に対して耳を傾け、自己決定を促し納得して頂ける声かけ、説明に勤めている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりのペースをできるだけ大切にしようとする対応を心掛けてはいるが、希望にそった支援を行っている。	○ 利用者間での軽度、重度の方が一緒に生活されているため、職員の人数の関係により軽度の方の希望にそえない場合もある。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容は訪問美容により実施している。その際にご本人の要望を伝えている。又、希望により美容院への送迎を行っている。おしゃれについてご本人の好む物を着て頂けるように配慮している。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	生活支援としてお茶入れ、野菜切り、味噌汁作り盛り付けなどを職員と共に行っている。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	食事摂取量の少ない入居者に対して、好みの物を聞き提供している。 お酒、タバコについては対応している方は現在いない。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	基本的に定時のトイレ介助、オムツ交換を行っている。訴えがあれば随時行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴したい方や、1日おきに入浴したい方、ゆっくりと入浴したい方等、希望がバラバラのため、希望通り入浴できない方が出てしまう。ある程度は定期的に入浴日を決めて入浴して頂いている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	食後の休息や、夜間の安眠など、ご本人の希望にそった支援を行っている。湯たんぽなどを利用したり、夜間に水分補給ができるように枕元にペットボトルを置いたりしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	清掃、洗濯物たたみおしぼり巻きなどの役割の支援、レクリエーションでは風船バレー、貼り絵など、またドライブや買い物に出掛けたりしている。	○	レクリエーションなどマンネリ化している傾向にあるので、新たな事に取り組んでいきたいと思う。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて買い物に行きご本人の要望する物が買えるようにする。	○	ひとりひとりにお金を持って頂き買い物に行きたいと思う。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候の良い時期は天気が悪くなければ毎日散歩に出掛けている。ドライブも出来るだけ希望にそって行けるようにしている。また、中庭で日光浴をしたりしている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとに花見やりんご狩り、外出や県庁の展望室や図書館やドライブなど毎月プランを立て実行している。	○	今後も積極的に取り組んでいきたいと思う。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の手書きの暑中見舞いを家族に出している。また、訴えがある際は、事務所を通して電話をしたり、ご本人が納得されるように支援している。	○	利用者の方に要望を伺って、希望があれば実施できるようにする。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	御家族等面会時は居室にてゆっくり過ごして頂けるようにしている。ホールにいられる方の場合には時には一緒にレクリエーションに参加をして下さり他の入居者の方ともコミュニケーションがとれている。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束が必要かどうか、必要な時間帯、職員の人数などを御家族へ報告・相談を行い、その結果拘束を行わなければならない時間や必要性を記録し、出来る限り行わないケアに努めている。やむを得ない、命にかかわる状態の時はその都度家族に同意書を書いて頂いている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員が鍵をかける事の弊害を理解した上で利用者の安全性やトラブル回避、または御本人の希望により施錠をしている場合がある。	○	認知症で、ご自分の部屋やトイレも理解できていない方もおられ、他の利用者の部屋に入ってしまう、トラブルになる為、本人希望により、やむ負えず施錠する場合もある。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	定時の巡視の他に様子観察が必要の方については随時巡視を行い安全に配慮している。転倒の恐れのある方、車椅子より落ちる危険性のある方については特に注意して見守っている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみ、裁縫道具を使う際には見守りをし、事故のないように努めている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職場内研修や外部研修の実施により知識を学んでいる。マニュアルに基づく対応ができるように確認を行う。火災については防災訓練の実施により職員が事故防止に取り組んでいる。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職場内研修や外部研修にて対応を学んでいる。定期的な訓練は行われていない。 急変時は管理者へ報告し指示をあおぐ。主治医に上申し対応している。	○	訓練は定期的には実施されていないので実子する。マニュアルに基づきスムーズな対応ができるようにする。 研修にて心マッサージの応急処置を学ぶ機会はあるがすべての職員ではないため、出来る限り全員が訓練を受けられれば良いと思う。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災については防災訓練にて方法を身につけているが、地震や水害については身につけていない。地域の人々の協力を得られるように管理者が働きかけを行っている。	○	地震、水害についても避難方法を身につけられるようにする。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時に管理者がご家族に説明するとともに入居後は計画作成担当者が生活上のリスクをご家族に説明し、ご家族と随時話し合いをできるようにしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、日誌や経過記録に変化や異変について発見があれば記録を行い情報を共有し、その日のうちに対応を検討し実施している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的、用法、用量については理解している。副作用についてはすべて理解できていない。服薬支援と症状の変化の確認は行っている。	○	全職員が薬の副作用についても理解できるようにする。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分を多めに摂取して頂いたりラジオ体操や歩行訓練などを実施している。また、入浴時やトイレ介助時に腹部マッサージを実施している。	○	便秘予防のための飲食物の工夫を考える。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを実施。口臭の強い方は口腔洗浄液を使用。うがいのできない方については、ガーゼを使用しケアを行う。入れ歯使用者は夕食後毎日ポリデントにつけている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事時と10時3時、入浴後の水分補給等、特に冬期乾燥の時期や夏期の脱水に注意を払っている。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	研修等で感染症について勉強し予防に努め、疑いのある時は早期に受診して対応している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ボイルの温め時間の徹底。調理器具の消毒や乾燥など衛生に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の鍵は開いており、自由に訪ねて頂けるようにしてある。お花や植木等できれいにしている。	○	入居者が最近されている事や、行事などが分かるように写真などをはっていききたいと思う。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は不快な音や光がないように配慮している。ホールには季節ごとに写真や掲示物を展示している。	○	収集されてしまう方がいる為危険防止も考慮して飾り等を少なくしている面もあるが、職員で話し合い生活感を出せるように工夫したいと思う。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはソファが設置してありテレビを見ながら過ごせる。また、独りになれる場所もある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の希望によりこたつを設置したり、家から使い慣れた物を持って来て頂いたりしている。カレンダー、年賀状、写真、誕生日の色紙、書き初め等居室に飾っている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日換気をし、また消臭剤を使用している。決められた温度設定により温度調節を行っているが、ご本人の希望や状況に応じて調節している。		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、ホール内、トイレ内等の手すりや段差のない廊下、横開きの戸などで車椅子の方も自操にて移動しやすくなっている。	○	浴室などは車椅子対応ができるようもう少し広いスペースが欲しい。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々に合わせた声掛けや、話すスピード、トーンなどを工夫し、皆さんと一緒に出来る限りご自分で行動して頂けるように促し支援している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭にて洗濯物を干しに行ったり、また気候の良い時期には日光浴やレクリエーションを実施している。	○	外回りやベランダの有効利用を検討していきたい。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一日一日を大切に、笑顔で過ごせるように、たくさんの楽しい思い出ができるように利用者様ひとりひとりを大事に接していきたい。悔いのない介護をしていきたいと思っています。